



## 災害時要援護者の避難支援、避難生活支援セミナー －被災当事者の視点から市民防災を考える－

- 1 目的 過去の大災害における被災した当事者や、支援者の体験談を通して、今後発生する災害に備えて課題・問題点を洗い出し、平常時からできる減災対策を考えることは有効です。「災害支援のユニバーサル化」をキーワードに障害当事者の視点と災害に強い街づくりを考える。
- 2 日時 平成21年8月4日（火） 13:00～16:00
- 3 場所 ウィルあいち 1Fセミナールーム（1, 2）  
〒461-0016 名古屋市東区上堅杉町1番地 TEL 052-962-2511
- 4 参加費 無料
- 5 定員 80名（先着）
- 6 参加対象 自治体消防・防災関係者、保健福祉関係者、社協関係者、地方議会議員、障害当事者団体、災害ボランティア、福祉サービス事業者など

### 7 内容（案）

時間	内容	備考
13:00～13:05	主催者挨拶・趣旨説明	
13:05～14:30	わがまちを知り来るべき地震に備える	名古屋大学大学院 環境学研究科 都市環境学専攻建築学系 環境安全マネジメント講座 教授 福和伸夫氏
14:30～14:40	休憩	
14:40～15:45	パネルディスカッション （過去の被災体験を今にいかにか） 戸水 純江 NPO福祉発信基地友の家 理事長（障害者 家族 東海豪雨被災） 玉木 幸則 メインストリーム協会 副代表（障害当事者・阪神大震災で被災） 望月垂矢子 チャレンジド・フジ（障害当事者・地域で防災活動を展開） 福和 伸夫 名古屋大学大学院 環境学研究科教授（学識経験者） * コーディネーター わだちコンピュータハウス所長 水谷 真	
15:45～15:55	質疑応答	
15:55～16:00	閉会挨拶	

8 主催 社会福祉法人AJU自立の家

9 後援（予定） 愛知県、名古屋市、愛知県社会福祉協議会、名古屋市社会福祉協議会

問い合わせ 社会福祉法人AJU自立の家

わだちコンピュータハウス 防災企画グループ 湯浅達也  
TEL 052-841-9888 FAX 052-841-1015 bousai@aju-cil.com

## 8/4 災害時要援護者の避難支援、避難生活支援セミナー 参加申込書

F A X またはメールにてお申し込み下さい。

団体名			
所在地			
TEL		F A X	
Eメール			
申 込 者 氏 名			
	所属／役職	ふりがな	
		氏 名	
1			
2			
3			
例	防災課 課長	なごや たろう	
		名古屋 太郎	
ご要望（手話・要約筆記等の情報保障について、その他ご要望）			

申し込み締め切り 7月28日（火）

※折り返し参加受付完了のメール又はF A Xを送信します。当日受付にてメール・F A Xを提示下さい。

お問い合わせ、申込み先

 社会福祉法人AJU自立の家

わだちコンピュータハウス 防災企画グループ

F A X : 0 5 2 - 8 4 1 - 1 0 1 5

または

E-mail : bousai@aju-cil.com

三菱財団社会福祉補助事業